

令和7年度 事業計画書

事業局課	にぎわいスポーツ文化局	スポーツ振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	16
歳出予算科目	一般会計	4 款 1 項	3 目	政策番号	8	施策番号
事業名称	横浜BUNTAI及び横浜武道館管理運営事業		12月補正予算			4

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
補正後	2,030,121	0	0	16,512	0	2,013,609
補正前	1,971,370	0	0	16,512	0	1,954,858
増▲減	58,751	0	0	0	0	58,751

事業概要 (アクティビティ)	PFI事業として行った横浜文化体育館再整備事業により、令和2年7月に供用開始した横浜武道館及び令和6年4月に供用開始した横浜BUNTAIの維持管理・運営を行います。							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
①横浜BUNTAI の運営 ②横浜武道 館の運営	単位	目標	①一 ②実施	①一 ②実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施
	—	実績	①一 ②実施	①一 ②実施				
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
施設利用者数	単位	目標	650,000	650,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
	人	実績	689,895	670,273				
事業目的	横浜の新たなスポーツ振興の拠点とともに、関内駅周辺地区の賑わい創出の核とする目的に、関内駅周辺地区のまちづくりのリーディングプロジェクトとして、旧横浜文化体育館敷地及び旧横浜総合高校敷地の2つの土地を活用して、横浜文化体育館再整備事業を進め、令和2年7月に横浜武道館、令和6年4月に横浜BUNTAIが供用開始しました。 令和7年度は、引き続き、PFI事業による維持管理・運営を実施します。							
背景・課題	昭和37年の竣工から50年以上が経過し、老朽化が進んでいることやサブアリーナがないこと等、大規模なスポーツ大会等に対応するための機能面の課題も有しており、市民の武道振興のため武道大会を開催する場の確保も求められていたことから、横浜文化体育館再整備事業として両施設が整備されました。							
根拠法令・方針決裁等	横浜市スポーツ推進計画							
根拠・データ等	第3期横浜市スポーツ推進計画							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度：契約締結、サブアリーナ設計 平成30年度～令和元年度：サブアリーナ設計・工事、メインアリーナ設計 令和2年度：サブアリーナ供用開始、メインアリーナ設計、旧横浜文化体育館解体工事 令和3年度：メインアリーナ設計、旧横浜文化体育館解体工事、メインアリーナ工事 令和6年度：メインアリーナ供用開始 令和20年度：事業終了 							
事業開始年度	平成26年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		補正後	補正前	差引(増減)	増減説明
	1	横浜武道館管理運営事業	966,970	944,496	22,474	契約変更による増
	2	横浜BUNTAI管理運営事業	1,063,151	1,026,874	36,277	契約変更による増
細事業合計		2,030,121	1,971,370	58,751		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	平野 直人	係長	鳥越 香織	
--	----	-------	----	-------	--